

【様式第 4 号】

令和 7 年度 第 6 回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 防災部会事務局 会議録	
日時	令和 7 年 2 月 14 日(水) 16:00 ~ 18:00
開催場所	地域活動ホームゆめ 食堂・ボランティアルーム
出席者	(ときわ虹の会) 誉田氏 加藤氏 (たちばな会) 中戸川氏 (夢21) 遠藤氏 (保土ヶ谷区役所) 小堀氏 (いわまワークス) 戸村氏 (ほどがや希望の家) 早坂氏 島田氏 (ほどがやゆめあん) 安室 (基幹相談) 矢板、福田 計11名
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議 題	<p>防災研修 「大災害時に声を出せない方をどのように支援していくか」</p> <p>テーマ 東日本大震災の教訓 ～みえない障害への支援～</p> <p>講師 ・NPO 法人 相双に新しい精神科医療システムをつくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみ 米倉一磨看護師</p> <p>16:10~17:10 資料を使いながら、講義を伺った。 17:10~17:50 質疑応答、意見交換</p> <p>質問 Q:講義の中で無駄話など重要だったとありましたが、他に必要な物がありますか？ A:アルコール依存傾向の方は孤立化しやすいので、避難所などでも役割や趣味が大切。趣味は不便な物が集中しやすく良いと思う。 Q:支援者のストレスケアは？ A:人と会わない時間を作る。 Q:被災地としてボランティアや支援を受ける時の注意点はありますか？ A:ボランティア活動に高揚感を持つ方が居る事は事実である。正解のない支援なので地元は意識を持つ事が必要。</p> <p>意見交換 どんな人に支援が必要か。生活弱者をどう避難させるのか、考える事が必要。 孤立化やクレームのある人こそ支援が必要。 個人情報の開示をどうするか、決めておく。但し、緊急時に開示は出来るはず。</p> <p>貴重なお話を伺い、活発な意見交換もでき、有意義な講義でした。</p> <p><u>次回: 2026 年 4 月 15 日(水) 16:00 ~ 17:30</u> <u>場所: ゆめボランティアルーム</u></p>